

教養部会教授 中河 豊

1. 研究活動

論文 いくつかの想い 主観性と 世界をめぐる	2014. 3. 17	名古屋大学哲学会会報 第55号 3-9頁	自分の哲学研究の発展について経験に即して 記述した。
インタビュー	2013. 5	Crossner Mitteilungen 34, 6-10.	ウルリケ・ハーゼ氏によるインタビューに応 える形で、日本とドイツの音楽療法のあり方 について見解を展開した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 倫理学		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
原発問題などの現実的諸問題を取り上 げ、解説を加えた。とくに、福島に出張 し、原発被害の実情について調査し、学 生たちに報告した。	パワーポイントで資料を提示した。	
授業科目 哲学		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
ヨーロッパ思想、とくに北欧の思想につ いて講義を行い、これを新自由主義と比 較した。	パワーポイントで資料を提示した。	
授業科目 教養講座（人文）		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
ドイツにおける美学の発展についてテ クスト（翻訳）に即しながら説明した。	哲学的美学のテキストは、わかりやすく 訳出することに配慮した。	

3. 学会等および社会における主な活動

日本哲学会		
日本ヘーゲル学会		
日本フィヒテ協会		
中部哲学会		
名古屋哲学研究会		運営委員